

BIM・IPDによる設計生産業務の国際標準 ～ガラパゴス建設産業の脱出口～

BIMの導入が今急速に進みつつあるが、これにより日本の建設産業の構造が大きく変わる可能性がある。BIMを効果的に利用すれば、建物品質、建設費、工期が大きく改善され、生産性も飛躍的に向上すると言われる。しかし、その効果はBIMだけでは達成されず、フロントローディング、コラボレーション、コーディネーションという設計生産全般にわたる業務プロセスのイノベーションが必要とされ、米国では設計生産協同でプロジェクトを推進する方式のIPDが提案され、実践が始まっている。シンポジウムではBIM・IPDによる設計生産の新たな業務プロセスを俯瞰し、日本の設計生産体制のイノベーションの可能性について考察し、意見を集約する。

企 画：情報システム技術委員会 設計・生産の情報化小委員会
日 時：2012年12月13日(木) 9:00～12:40
場 所：建築会館ホール（東京都港区芝 5-26-20）
司 会：猪里孝司（大成建設）
副 司 会：岡 正樹（CIラボ）
記 録：山極邦之（大林組）

■プログラム

1. 主旨説明 猪里孝司（大成建設） 9:00～ 9:05
2. 招待講演
「国際建設市場展開に必要な契約形態の多様化」
草柳俊二（高知工科大学） 9:05～ 9:45
3. 話題提供
 - 1) 「BIMのコラボレーション実践を通して見えてくる新たな設計生産業務」
森 元一（竹中工務店） 9:45～10:05
 - 2) 「米国連邦調達庁におけるBIMマネジメント手法」
大槻泰士（内閣府沖縄総合事務局） 10:05～10:25
 - 3) 「BIM(理系)とXBRL(文系)の間にあるべき制度 ー昭和23年建設工業原
価計算要綱案の再考ー」 寺川 鏡（コスト研） 10:25～10:45
 - 4) 「IPDによる設計・生産業務の新たな国際標準」
田部井明（竹中工務店） 10:45～11:05休憩
4. 第14回建築CAD・BIM利用実態調査報告
山極邦之（大林組） 11:15～11:25
5. パネルディスカッション「BIM・IPD はガラパゴス建設産業の脱出口となるか」 11:25～12:35
司 会：岡 正樹
出席者：草柳俊二・森 元一・大槻泰士・寺川 鏡・田部井明
6. まとめ 山下純一（IAI 日本） 11:35～12:40

参加費等はこちらをご覧ください。

→ <http://www.aij.or.jp/jpn/symposium/2012/121213-14.pdf>